

学校運営協議会

令和3年度第1回学校運営協議会

○日 時 令和4年3月17日(木) 16:00～17:20

○場 所 佐川高等学校 視聴覚室(南校舎3F)

○委 員

濱田 陽治 (佐川町教育長)
織田 誠 (越知町教育長)
黒川 一彦 (仁淀川町教育長)
吉岡 優誠 (日高村教育長)
岩本 敏彦 (日高村佐川町学校組合教育長)
谷口有紀子 (PTA会長)
馬詰 智子 (PTA副会長)
大鳥 愛 (地域学校協働活動推進員)
弘瀬久仁子 (地域学校協働活動推進員)
谷村 孝二 (佐川高等学校長)

○会次第

(1) 開会

(2) 校長挨拶

(3) 協議・報告

①令和3年度 学校経営計画・学校評価について

②学校評価アンケートの結果について

③スクール・ミッション、スクール・ポリシーについて

④ その他

(4) 閉会

○協議意見概要

- ・学校から学校経営計画について、本年度の学校の取組や進路状況等について説明。12月に実施した学校評価アンケートの結果について報告。
- ・社会で働くために必要な力を育成することを目標に、学校の魅力化を図ってほしい。
- ・地域に貢献できる人材を育成するためには、地域とかがわり、地域の産業や魅力を知ることが大切。
- ・地域の中学生の6,7割が進学する学校になってもらいたい。高知市内の学校に行かなくても、佐高に行けば大学にも行けるということをわかってもらう必要がある。
- ・家庭学習時間の少なさが気になる。学びは、与えられたものより、主体的に学ばないと身につかない。佐川らしい教育の充実を図る。
- ・はじめ自己肯定感の低い生徒が多いなど感じていたが、「さくら咲くプロジェクト」などの地域学習を一緒にしていく中で、会うたびに成長していく子供たちの姿を観ることができた。答えではなく、勉強の仕方や考え方を教える教育が重要。
- ・人間の本質というか、他人の気持ちが分かる人を育ててほしい。教員と保護者との連携が必要であるとともに、教師と生徒の信頼関係を築くことが大切。
- ・子供は、さくら咲くプロジェクトがやりたくて入学した。地域の課題等に対して、今自分たちでできることを見つける楽しさや考える力をつけていただいていると感じている。